

## IT 導入補助金のご案内

株式会社内田会計事務所 IT支援課 課長  
**東野 宏和**

### ●IT 導入補助金とは

IT導入補助金は、業務効率化やクラウド化をお考えの企業様、インボイス制度への対応をご準備中の企業様には特に有効に活用していただける補助金です。

- 会計業務や煩雑な事務作業をIT化して効率よくしたい
- クラウド会計やクラウドサービスの利用を検討している
- 今の業務システムが古いので最新のものに乗り替えたい
- インボイスや電子帳簿保存法に対応したいが、具体的にどうすればよいのかわからない



### ●ご利用事例

ご依頼者様：医療 社員様人数：～50名

【IT ツール】 やよいの青色申告(会計) + ESET  
インターネットセキュリティ  
【ハードウェア】 ノートパソコン  
【 枠 名 】 デジタル化基盤導入枠  
【補助金適応内訳】

補助対象経費

補助金申請額

実質支払額

約 **35**万円 - **23**万円 = **12**万円

#### 【導入のきっかけや対応】

会計業務の効率化とインボイス・電帳法に対応するため、内田会計事務所へ相談。かなりバージョンが古い弥生会計スタンダードをご利用されており、また業務を洗い出し確認したところ、やよいの青色申告にダウングレードした方が最適化されることが判明。旧システムからのバージョンアップとデータ移行を内田会計事務所にて受け持ち、滞りなくシステムの変更に対応。IT導入補助金でソフト導入費用の軽減をした上で、データ移行費用の節約とランニングコストの見直しが実現しました。

ご依頼者様：運送業 社員様人数：～50名

【IT ツール】 大蔵大臣(会計) + 運送業システム(受発注)  
【ハードウェア】 デスクトップパソコン、液晶モニター  
【 枠 名 】 デジタル化基盤導入枠  
【補助金適応内訳】

補助対象経費

補助金申請額

実質支払額

約 **170**万円 - **116**万円 = **54**万円

#### 【導入のきっかけや対応】

大蔵大臣のバージョンが ver.2.0 と古く、メーカーサポート終了となる為、買い替えの必要性あり。運送業システムにおいても旧製品を利用しており、インボイス対応も必要だった。両ソフトとも最新バージョンを導入。バージョンアップに関わるデータの整合チェック、動作確認を内田会計事務所にてサポート。同時にクラウド化し、他営業所でもシームレスに使用できるようにしたため、大きな業務効率化効果を得られました。

ご依頼者様：建設業 社員様人数：～50名

【IT ツール】 弥生販売スタンダード (受発注)+ESET  
インターネットセキュリティー

【ハードウェア】 デスクトップパソコン、液晶モニター

【 枠 名 】 デジタル化基盤導入枠

【補助金適応内訳】

補助対象経費

補助金申請額

実質支払額

約 **100**万円 - **60**万円 = **40**万円

【導入のきっかけや対応】

元々は EXCEL にて請求書を発行されており、日報からデータを集計し手動で再計算を行うなどのプロセスが発生していたため、業務の効率化について内田会計事務所へ相談。

販売管理ソフトを導入し手作業が発生しない業務プロセスの構築をご提案。既に運用している日報データを取込み、販売管理システムへインポートさせることで入力業務の省力化を行いました。

ご依頼者様：社会福祉法人 社員様人数：～150名

【IT ツール】 KING OF TIME(勤怠管理)

【ハードウェア】 打刻機(補助金対象外)

【 枠 名 】 通常枠 (A類型)

【補助金適応内訳】

補助対象経費

補助金申請額

実質支払額

約 **180**万円 - **90**万円 = **90**万円

【導入のきっかけや対応】

出勤簿や休暇申請、時間外申請等全て紙の書類を回覧しており、出勤簿や申請書の回収や勤怠項目の集計に時間がかかっていた為、勤怠システムの導入について内田会計事務所へ相談。

導入支援からアフターフォロー、給与計算ソフトとの連携までを行い、勤怠関連の集計業務の省力化と給与計算などの業務効率化を行いました。



株式会社  
内田会計事務所  
ビジネスサポート部  
部長 内野敦史

日頃より大変お世話になっております。

おかげ様で、IT導入補助金2022年度は約50件の導入をご支援させていただきました。会計ソフトを古いバージョンでお使いの方、新しくソフトを導入しインボイスや電子帳簿保存法に対応したいとお考えの方は、法対応と同時に、最新のPCやタブレット、プリンターも購入できます。

今後、デジタル化は進み、いつかは対応が必要な日が来ます。  
補助金が出ている今がチャンスです！

事務作業のコストを少しでも下げて、本業への時間を増やす(業務効率化→生産性を高める)ご支援をさせていただきます。

お気軽に担当者または IT支援課(095-861-2054)までご連絡ください。



PC、タブレット、レジ・券売機等の購入も補助対象に!

# IT導入補助金2023

## <IT導入補助金とは>

IT導入補助金を活用することで中小企業者は、ITツールを導入し、業務効率化・売上アップといった経営力の向上・強化を図ることができます。中小企業や小規模事業者、個人事業主などが、働き方改革や賃上げ、インボイス導入などに対応できるよう、生産性向上に役立つITツールを導入するときに受けられる補助金です。

## 類型の概要

### ■デジタル化基盤導入類型

中小企業・小規模事業者に、インボイス制度も見据えたデジタル化を一挙に促進するため、会計ソフト・受発注ソフト・決済ソフト・ECソフトの導入費用に加え、PC・タブレット、POSレジ・自動釣銭機等の購入費用を支援します。

### ■通常枠

IT導入補助金は、中小企業・小規模事業者等のみなさまが自社の課題やニーズに合ったITツールを導入する経費の一部を補助することで、みなさまの業務効率化・売上アップをサポートするものです。自社の置かれた環境から強み・弱みを認識、分析し、把握した経営課題や需要に合ったITツールを導入することで、業務効率化・売上アップといった経営力の向上・強化を図っていただくことを目的としています。



インボイス制度導入への対応も見据えつつ、企業間取引のデジタル化の強化を促進。

- ① クラウド利用料を最大2年分まとめて補助(デジタル化基盤導入枠に加えて通常枠も2年分に)
- ② 会計ソフト、受発注ソフト、決済ソフト、ECソフトに補助対象を特化し補助率引き上げ
- ③ PC・タブレット、レジ・券売機等の購入を補助対象に追加(デジタル化基盤導入枠)
- ④ 通常枠の補助額が5万円~に引き下げ。

| 枠名   | 通常枠                                   |               | デジタル化基盤導入枠                                      |             |       |       |
|------|---------------------------------------|---------------|---|-------------|-------|-------|
|      | A類型                                   | B類型           | デジタル化基盤導入類型                                     |             |       |       |
| 補助額  | 5万円~150万円未満                           | 150万円~450万円以下 | ITツール   |             | PC等   | レジ等   |
|      |                                       |               | ~50万円以下   | 50万円超~350万円 | ~10万円 | ~20万円 |
| 補助率  | 1/2以内                                 | 1/2以内         | 3/4以内   | 2/3以内       | 1/2以内 |       |
| 対象経費 | ソフトウェア購入費、クラウド利用費(クラウド利用料最大2年分)、導入関連費 |               | ソフトウェア購入費、クラウド利用費(クラウド利用料最大2年分)、ハードウェア購入費、導入関連費 |             |       |       |

## 【導入事例】

※下記以外のITツールについても取り扱いがある場合がございます。

### 会計ソフト

- ・弥生会計シリーズ
- ・マネーフォワードクラウドビジネスプラン
- ・マネーフォワードクラウドパーソナルプラン
- ・大臣シリーズ
- ・PCAシリーズ

### 受発注ソフト

- ・弥生販売シリーズ
- ・マネーフォワードクラウド請求書

### 導入支援・保守サポート

- ・導入設定、操作指導、運用支援
- ・ソフトウェア保守サービス

### 勤怠管理ソフト

- ・KING OF TIME

### ハードウェア

- ・パソコン、タブレット
- ・プリンター、スキャナー

当社で経理や事務の効率化についてサポートしています。お気軽にご相談ください。

内田会計グループ

株式会社内田会計事務所

TEL:095-861-2054 FAX:095-862-8885

〒852-8008 長崎県長崎市曙町4番9号

~認定支援機関で対応できます~

- ・各種補助金申請
- ・経営改善計画書の作成
- ・創業支援
- ・優遇金利での資金調達 など



※YouTube動画も  
ご視聴ください。

# IT 導入補助金 2023

## 事前準備のお願い

### STEP1

#### gBizID プライムアカウントの取得

交付申請の要件には”gBizID”プライムアカウント(ID・パスワード等)が必要となります。

gBizID プライムをお持ちでない場合は取得が必須となります。  
申請から発行まで2週間程度かかりますので、お早めに gBizID 取得をお願いいたします。

・gBizID ホームページ  
<https://gbiz-id.go.jp/top/>

申請に必要なもの

- ・メールアドレス
- ・パソコンおよびプリンター
- ・印鑑証明書(個人事業主は印鑑登録証明書)
- ・スマートフォンまたは携帯電話(PHS 不可)

### STEP2

#### みらデジ経営チェック の実施

交付申請の要件には ”みらデジ経営チェック” の実施が必要となります。

#### みらデジ経営チェックについて

アンケート形式で質問に回答することで、同業種・同地域の事業者と比較しながら、自社の経営課題やデジタル化への取り組み状況を瞬時に診断する事が出来ます。

みらデジ経営チェック  
<https://www.miradigi.go.jp/>

### STEP3

#### SECURITY ACTION の宣言

本事業の申請においては、“SECURITY ACTION”の“★一つ星”または“★★二つ星”の宣言が要件となります。  
(“★一つ星”であれば即日発行可能)  
※過去に取得済みの場合は再取得不要です。

#### SECURITY ACTION について

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が実施する中小企業・小規模事業者等自らが、情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度。本補助事業では、交付申請作成時に宣言済アカウント ID の入力を求められます。

・SECURITY ACTION ホームページ  
<https://security-shien.ipa.go.jp/security/entry/>

### STEP4

#### 必要書類の準備

##### 法人の場合

- ☑ 履歴事項全部証明書  
・交付申請日から遡って、3ヶ月以内に発行
- ☑ 法人税の納税証明書(その1またはその2)  
・直近分 ・税務署の窓口にて発行されているもの  
・電子納税証明書の場合は、交付請求時に発行された PDF 形式のもの(窓口発行の納税証明書と同一フォーマット)のみ有効  
※XML 形式の納税証明データシート等は不可

##### 個人事業主の場合

- ☑ 運転免許証または運転経歴証明書または住民票  
・交付申請日から遡って、3ヶ月以内に発行  
・運転免許証は交付申請日が有効期限内  
・免許証の裏面に記載がある場合は、裏面も提出
- ☑ 所得税の納税証明書(その1またはその2)  
・電子納税証明書の場合は、交付請求時に発行された PDF 形式(窓口発行の納税証明書と同一フォーマット)のみ有効  
※ XML 形式の納税証明データシート等は不可
- ☑ 所得税確定申告書B  
・税務署が受領した直近分  
・税務署が受領したことがわかるものに限る PDF 形式のもの(窓口発行の納税証明書と同一フォーマット)のみ有効  
※旧姓で事業を行い、上記書類の姓名が不一致の場合、姓名の変更がわかる書類を添付

#### 通常枠 申請期限

1次締切 2023年04月25日(火)17:00  
2次締切 2023年06月02日(金)17:00

#### デジタル化基盤枠 申請期限

1次締切 2023年04月25日(火)17:00  
2次締切 2023年05月16日(火)17:00  
3次締切 2023年06月02日(金)17:00